

◆2018 年度青山学院大学海外インターンシップ・プログラム F A Q

プログラム全般について

- Q. 海外インターンシップ・プログラム参加に興味があるのですが、募集ガイダンスに参加は必要ですか？
- A. なるべく参加してください。インターンシップ手配先の担当者が来校するので、これまでの参加者のケースやインターンシップ先の様子など具体的な話を直接聞く機会です。参加することをおすすめします。
- Q. プログラム説明会に参加できなかった場合、資料等はもらえるのでしょうか？
- A. はい。説明会以降、国際センターの資料コーナーに用意していますので、ご自由にお持ちください。
- Q. どのように選抜されるのですか？
- A. 書類選考の上、決定します。
- Q. インターンシップは無給ですか？
- A. 無給です。
- Q. 参加するにあたり、どのくらいの英語力が必要ですか？
- A. 英語力が高ければ高いほどインターンシップ先の候補数や任せられる仕事の範囲も変わってきますが、英語力が全てではありません。インターンシップ先候補には日系企業も含まれていますが、インターンシップ先の業務内容によって高度な英語力が必要な場合と、そうでない場合があります。
- ただし、ホームステイ先ファミリーとの意思疎通のためにある程度英語力が必要となります。
- また、希望都市によっても求められる英語力が異なります。シドニーについては、JASSO 奨学金に申請するためには、TOEIC600 点、IELTS Academic 5.0、IELTS General 5.0、TOEFL iBT50、TOEFL ITP500 点以上が必要ですが、その他の都市は、初級～上級と希望実習先により異なります。英語力は個別面談時に確認します。
- Q. 英文履歴書を書いたことがありません。どのように書いたらいいでしょうか？
- A. 本学の海外インターンシップのウェブサイトに記載している英文サンプルを元に作成してみてください。
- 応募準備セミナーを実施しますので、特に 4 週間プログラム出願者は参加してください。エントリーシート、英文履歴書、カバーレターの書き方の指導をします。申込時はドラフトで英文履歴書を提出してもらいますが、その後、添削指導を入れて、よりアピールする英文履歴書を完成させていきます。
- Q. 過去のプログラム参加者の体験談を聞く機会はありますか？
- A. 4 月中旬、9 月下旬に実施される海外インターンシップ募集説明会で参加学生からの体験談を予定しています。9 月下旬、3 月中旬に行われる参加学生の成果報告会（事後研修）で体験談を聞くことができます。日程確定後、学生ポータルでお知らせしています。
- Q. 過去のプログラムの参加者の構成を教えてください。
- A. 2017 年度の参加者数は 51 名でした。夏期の参加は 3 年生、春期の参加は 2 年生が多いです。すべての学部から参加者がいます。春期 4 週間プログラムは 1 年生の参加も 4 名ありました。

- Q. 海外インターンシップ奨励金に応募したいのですが、どのような手続きが必要ですか？
- A. 奨励金（渡航費補助）制度は、派遣が確定した参加者に対し募集受付します。希望者は申請用紙を受付期間内に提出し、書類選考の上、支給者を決定します。
5 週間プログラム 10 万円、4 週間プログラム 8 万円
- Q. 海外旅行保険は必ず加入しなければいけないですか？
- A. はい。大学のプログラムで参加する学生には、全員大学指定の AIG 海外旅行保険に加入していただくことになっています。参加者各自が各キャンパス購買会にて手続きすることになっています。詳細については参加決定後に案内します。
- Q. 募集期間中に申請書類を提出することが難しいのですが、代理申請は可能ですか？
- A. 本人がどうしても提出できない理由がある場合、提出のみ可能です。全て書類に不備がないことを確認の上、提出してください。また提出の際、代理であることをお申し出ください。ただし、以降の日程（個別面談、事前研修、出発前オリエンテーション、事後研修等）には本人自身が参加すること、渡航中に活動報告書を提出することが必須となりますのでご注意ください。

アメリカ（サンフランシスコ）5 週間プログラム

- Q. 宿舎は自己手配とのことですが、Intrax に手配を代行していただくことは可能ですか？
- A. 有料（2 万 5 千円）で手配は可能です。

【申込時の面接について】

- Q. アメリカ・インターンシップに参加したい場合、「英語力チェックに合格すること」と条件に書いてありますが、いつ面接を受ければいいのでしょうか？
- A. Intrax に各自メールまたは電話で連絡して、平日 10 時～18 時で時間を調整・設定してください。結果は通常その日のうちにわかります。
- Q. 英語力チェックではどのようなことを聞かれますか？また時間はどのくらいですか？
- A. 時間は約 10 分で、インタビュー形式で 5 問ほど質問があります。
(例：自己紹介、参加の動機、過去の経験など)
- Q. 企業とのスカイプ面接は、どのくらいで結果がわかるのでしょうか？
- A. メールまたは電話で、Intrax の米国もしくは日本の担当者より、1 週間以内に合否の連絡がある予定です。
- Q. 希望する分野で必ずインターンシップできるのでしょうか？
- A. J-1 ビザの規定上、大学での専攻及びご自身の経験等が、希望する分野と関連している必要があります。申し込み後、Intrax の米国担当者と面談をし、申込者（学生）の専攻やスキル・英語力などの確認を行った上で、受入れ先とのマッチングをしていきます。例えば、経済学部の学生でマーケティングの分野の場合決まりやすい傾向がありますが、文学部の学生でファイナンス希望の場合は、決まりにくい傾向にあります。インターンシップ決定には、受け入れ先となるホストカンパニーとの面接で合格することが必要です。面接は

3 社までとなっています。3 社の中から選ぶ形ではなく、1 社目で決まったら、ホストカンパニー決定となります。

Q. 過去の本学からの参加者のインターンシップ先や業務内容を教えてください。

A. 主にマーケティングやアシスタント業務です。

【NPO】Mission Economic Development Agency, Japan Society of Northern California, East Bay Asian Local Development Corporation

【ホテル】Pacific Tradewinds Hostel

【エンターテイメント】SCRAP

【ミュージアム】Asian Art Museum, Habitot Children's Museum

【写真】Grace Image

【旅行】San Francisco Travel

Q. 春期のサンフランシスコ 5 週間プログラムについては、いつ募集説明会がありますか？他の都市に比べて募集時期が早いのでしょうか？

A. 7 月初旬に募集説明会を予定しています。（他の春期 4 週間プログラムは後期開始後の 9 月下旬に募集説明会を予定しています。）ホストカンパニーとのマッチング、J-1 ビザ申請から取得までの時間を逆算した形でスケジュールを組んでいます。アメリカと 16~17 時間の時差がある中での面談や、宿舍の自己手配を通じて、渡航前に調整力やタイムマネジメント力が身につくことが期待できます。

オーストラリア、ニュージーランド(4 週間プログラム)

Q. 現地での滞在方法ですが、ホームステイでなく民間の宿舎を選択することはできますか？

A. できません。今回はホームステイのみになります。インターンシップ先への通勤可能なホームステイ先の紹介となります。

Q. 必ずインターンシップができるのでしょうか？

A. インターンシップは最終的には、受け入れ先の判断になりますので、必ず希望の業種でインターンシップができる保証はありません。ただ、申込み時に第 1 ~ 第 5 希望まで希望を書いてもらいますが、いままでは、ご本人の英語力、ご経験や、受け入れ状況などを考慮した上で、この第 5 希望以内で決まっています。過去の参加者のインターンシップ先は以下の通りです。

【旅行】Travel & Travel

【ホテル】Aspire Hotel, Travelodge Garden City Brisbane Hotel

【一般企業】Marcus Evans, Weighbridge Lawyers

【会計事務所】AGS

【インテリア】Sydney Central Furniture

【クルーズ】Captain Cook Cruises

【教育機関】Auckland Girls Grammar School

Q. 応募までに準備しておくことは何かありますか？

A. 自分の得意分野を作ってください。企業が求めるグローバル人材像としては、英語力よりも何事にも動じ

ない突破力（行動力）が必要です。日本では想定できないことに対しても、ポジティブに対応できるよう心の準備をしてください。自分がインターン先でどのような貢献が出来るかを考え、意識して、それに向けて努力することが必要です。例えば、自分がネイティブなみの英語力があつたときに、どこが自分のセールスポイントなのか考えてみる必要があります。

- Q. インターンシップの希望を書く際に、「この企業でこういうインターン経験をしてみたい」という企画書を提出することは可能でしょうか？
- A. 受け入れの最終判断は企業（ホストカンパニー）が決めることとなりますが、企画をもとに OKC で企画にあつた受け入れ先を提案してもらうことは可能です。

* 株式会社 OKC: オーストラリア、ニュージーランドへのインターンシップのホストカンパニーおよびホストファミリー紹介・手配会社、
Intrax: サンフランシスコ・インターンシップのホストカンパニー紹介・手配、

(2018年9月)